

APNIC 55に向けた意見交換ミーティング

2023.02.15

JPOPF運営チーム

#	Status	提案名
prop-147	継続議論	歴史的経緯を持つリソースの管理 Historical Resources Management
prop-149	新規提案	IPv4総割当数/21未満の場合の最大分配サイズの変更について Change of maximum delegation for less than /21 total IPv4 holdings
prop-150	新規提案	プライベート・予約済み・未割り当てのAS番号へのROA/whoisオブジェクト ROA/whois object with Private, Reserved and Unallocated (reserved/available) Origin ASN
prop-151	新規提案	非階層型 as-setの制限 Restricting non hierarchical as-set

※ prop-149は、「prop-141: IPv4アドレスの最大割り振りサイズの512(/23)から768(/23+/24)への変更」を修正の上新規提案されたものです。

継続審議

prop-147:

歴史的経緯を持つリソースの管理

Historical Resources Management

Historical Resources Management

- 歴史的経緯を持つIPv4アドレスの利用者は、2023年1月1日までにAPNCの会員もしくは非会員になることが求められ、またこの期日を超えたリソースはAPNICの予約済みリソースとなることが、2021年2月22日にECで決議されていました。
- 本提案では、既にこの期日を過ぎたことから、ポリシー文書内の歴史的経緯を持つアドレスについて、次ページの変更(削除1点・追加3点)を行うポリシー提案です。

※ JPNICの歴史的PIアドレスは、本提案には含まれません。

現文書

4.2.1. 未使用の歴史的経緯を持つリソースの回収

APNICのWhois データベースに登録されている歴史的経緯を持つリソースのうち、グローバルルーティングテーブルに広報されていないものが相当数あります。

これらのグローバルルーティングされていないリソースを回収し再委譲のためにフリープールに戻すために、APNICは1998年1月1日以降グローバルルーティングされていない歴史的経緯を持つアドレスのネットワーク責任者に連絡を取ります。

広報されていない歴史的経緯を持つAS番号を回収するために、APNICは妥当な期間グローバルに使用されていないリソースのネットワーク責任者に連絡を取ります。

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-147/>

提案文書

4.2.1. 未使用の歴史的経緯を持つリソースの回収

<削除>

4.3. 歴史的経緯を持つ資源の管理

a) 現在予約済みと表示されている歴史的資源

資源管理者は予約済みとマークされた歴史的資源を、予約済みとマークされた日から12ヶ月以内に使用する権利を請求することができます。12ヶ月を過ぎると、これらのリソースは再委任のためにフリープールに置かれます。リソースが不要になりAPNICに返却された場合、再請求することはできません。

b) ルーティングテーブルに存在する/存在しない歴史的資源

APNICが未請求の歴史的資源を登録解除した場合、その資源は予約済みと表示されます。資源管理者はその資源の使用する権利を請求するまでさらに12ヶ月の猶予を与えられます。12ヶ月後に資源が請求されなかった場合、その資源は再委任のためにフリープールに置かれます。

c) アカウントの閉鎖

アカウントの閉鎖により、APNICによって予約済みおよび／または再請求された過去のリソースは、「過去の」状態を失い、再委任のための「現在の」リソースとなります。

Historical Resources Management

<参考>

APNIC EC Meeting Minutes 22 February / 04 March 2021 p.7

18. Proposed historical resource fees

Following from discussions earlier, which included the EC's consideration of various alternatives, the following resolutions were proposed.

Resolution 2021-09: The EC resolved that **all historical resource holders will need to become, or remain, a Member or Non-member of APNIC on and from [1 January 2023]**, in order to continue to receive registry services from APNIC.

Resolution 2021-10: The EC resolved that on and from [1 January 2023], historical address holdings will not be taken into account when calculating annual fees for APNIC Members and Non-members.

Resolution 2021-11: The EC resolved that the Registry Database Maintenance Fee will be removed from the APNIC Non-Member Fee Schedule, with effect on and from [1 January 2023].

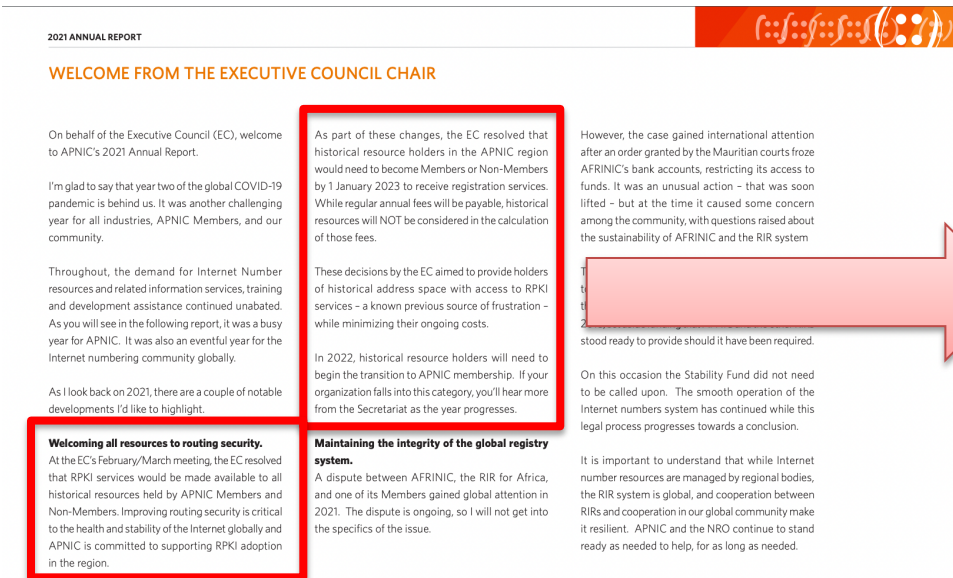
Resolution 2021-12: The EC resolved that **on and from [1 May 2021], RPKI services will be made available for all historical resources held by APNIC Members or Non-members.**

Motion proposed by Gaurab Raj Upadhaya; seconded by Kenny Huang. Passed unanimously.

Historical Resources Management

<参考>

APNIC 2021 Annual Report p.6



すべてのリソースをルーティングセキュリティに迎え入れる
ECは2月/3月の会合で、APNIC会員および非会員が保有するすべての歴史的経緯を持つリソースにRPKIサービスを提供することを決議しました。ルーティングセキュリティの向上はインターネットの健全性と安定性にとってグローバルに重要であり、APNICは地域におけるRPKI採用の支援に尽力しています。

これらの変更の一環として、ECはAPNIC地域の歴史的経緯を持つリソースの保有者がレジストリのサービスを受けるには、2023年1月1日までにメンバーまたは非メンバーになる必要があることを決議しました。通常の年会費は支払いが必要ですが、歴史的経緯を持つリソースは年会費の計算には含まれません。

ECのこれらの決定は、これまで不満の種であった歴史的アドレス空間の保有者にRPKIサービスへのアクセスを提供する一方で、継続的なコストを最小化することを目的としています。

2022年には、歴史的資源保有者はAPNIC会員への移行を開始する必要があります。あなたの組織がこのカテゴリーに該当する場合は、年が明けると事務局から詳細が発表されるでしょう。

新規提案

prop-149:

IPv4総割当数が/21未満の組織への最大分配サイズの変更について

Change of maximum delegation for less than /21 total IPv4 holdings

- APNICにおける最大分配サイズは /23 ですが、総分配サイズが/21 未満の組織に対して追加で /23 を分配ことができるようになるポリシー提案です。
- 現在のAPNICのアドレスプールの状況は、
 - 割り当て可能プール： 5,056 x /23
 - 予約済み/未使用： 3,300 x /23

となっており、月に145件の分配を実施している現在の状況が続けば、IPv4アドレスの枯渇は2027年末とかなり先となるため、これらのプールの大部分が当面の間死蔵されてしまうことを提案者は懸念しています。

新規提案

prop-150:

プライベート・予約済み・未割り当てのAS番号へのROA/whoisオブジェクト
ROA/whois object with Private, Reserved and Unallocated
(reserved/available) Origin ASN

- prop-138で、プライベート・予約済み・未割り当てのAS番号のROAを登録できないよう制限する提案を行いコンセンサスとなったものの、ポリシー文書の変更ではなくガイドラインに記載されることとなりました。
- しかし、現在もこのようなケースが確認されているため、あらためてポリシーで規定するための提案となります。あわせてIANAの未割り当てAS番号も登録できないことを会員に周知することを求めています。
- また同様にwhoisのプライベート・予約済み・未割り当ての AS番号をOrigineとした route / route6 オブジェクトについても、有効期限を設定して会員に通知した後、更新を行わずに削除を行うべきとしています。
- 同様に自身以外のOrigin ASでROAが作成された場合は、APNICはメールやMyAPNICで通知を行った上で自動更新を行わずに削除するべきである (route / route6オブジェクトも同様) としています。

- 登録の行えないAS番号は以下と提案されています。

- 23456	# AS_TRANS RFC6793
- 64496-64511	# Reserved for use in docs and code RFC5398
- 64512-65534	# Reserved for Private Use RFC6996
- 65535	# Reserved RFC7300
- 65536-65551	# Reserved for use in docs and code RFC5398
- 65552-131071	# Reserved
- 4200000000-4294967294	# Reserved for Private Use RFC6996
- 4294967295	# Reserved RFC7300

新規提案

prop-151:

非階層型 as-setの制限

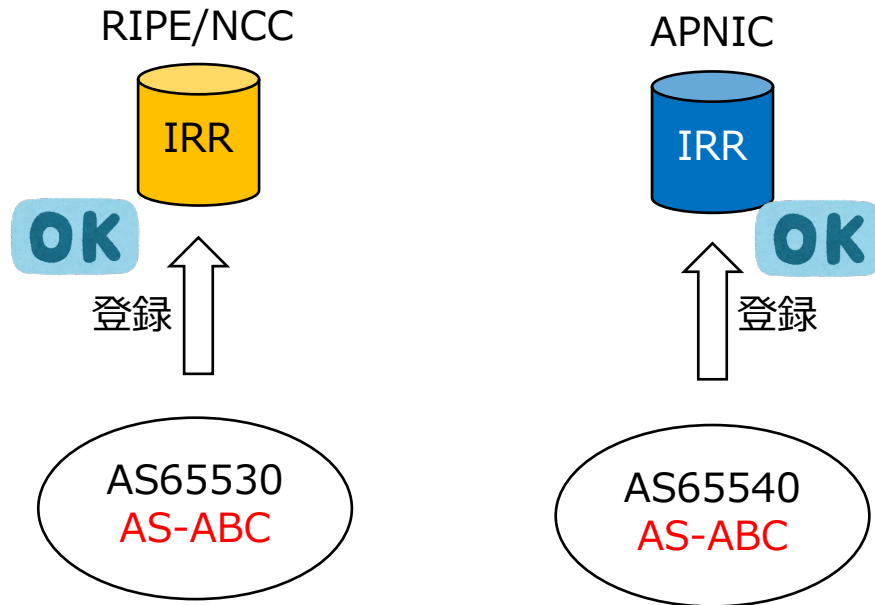
Restricting non hierarchical as-set

Restricting non hierarchical as-set

- as-setには非階層型(ASセット名のみ)のas-setと階層型(as-set名とAS番号を ":"で区切る)がRFC2622定義されています。本提案では非階層型のas-setの作成を制限するポリシー提案となります。
- 提案者は、非階層型 as-set の新規登録を制限するとともに、非階層型の as-set を登録済みのメンバーに対して階層型に移行するよう推奨するべきと主張しています。非階層型の場合、認証・認可無しで誰もが as-set を登録できてしまうためです。
- as-set を書き換えられてしまうと as-set を参照して書かれているPeering filter に影響が出ます。またas-set名はRIRやIRRの内部でのみ一意となっているため、例えば他のRIR配下で登録されたas-set名と意図せずバッティングしてしまう可能性があります。本提案はこれらを防ぐことができます。

Restricting non hierarchical as-set

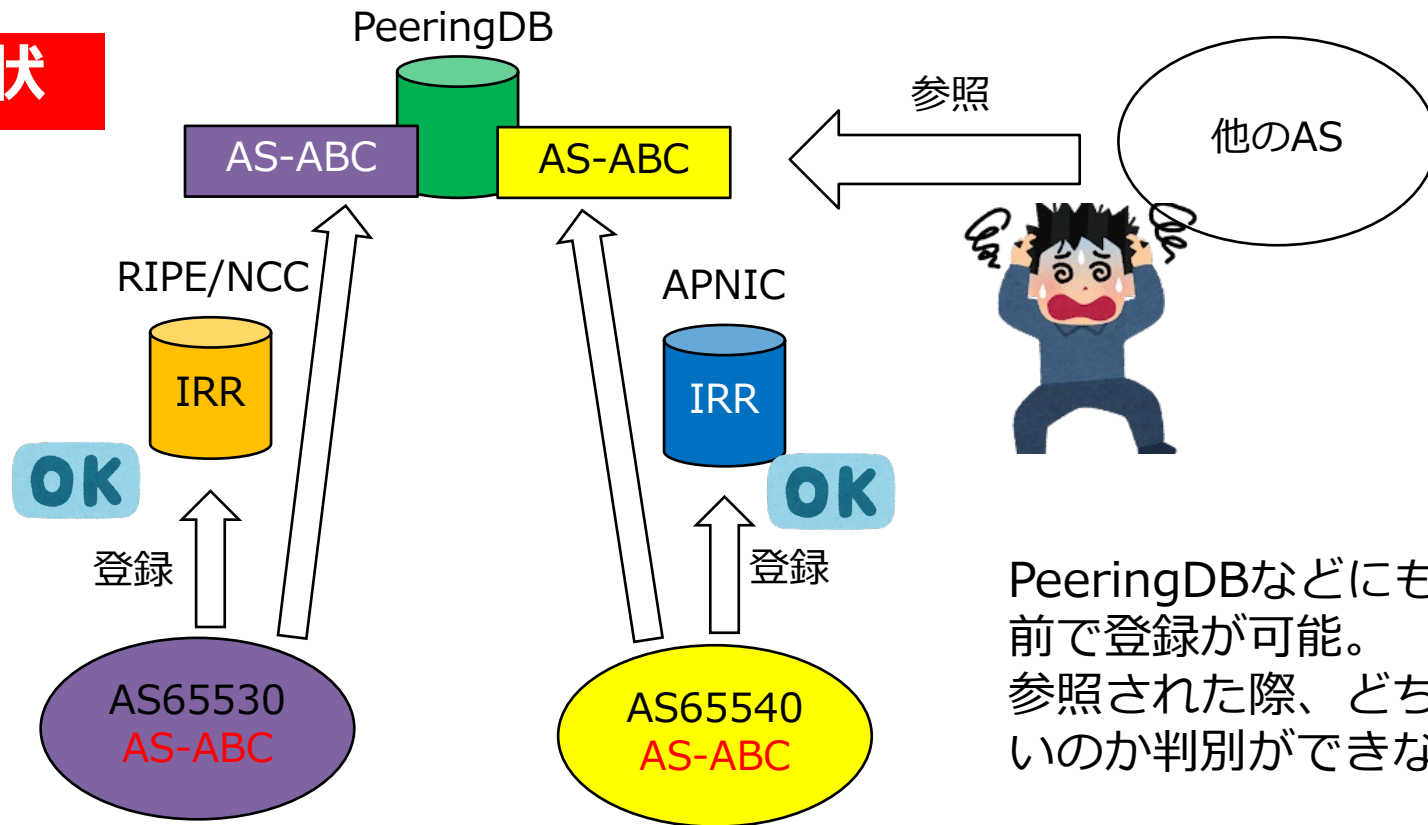
現状



各RIR間等で排他処理等を行っていないので、名前が重複していても登録が行える

Restricting non hierarchical as-set

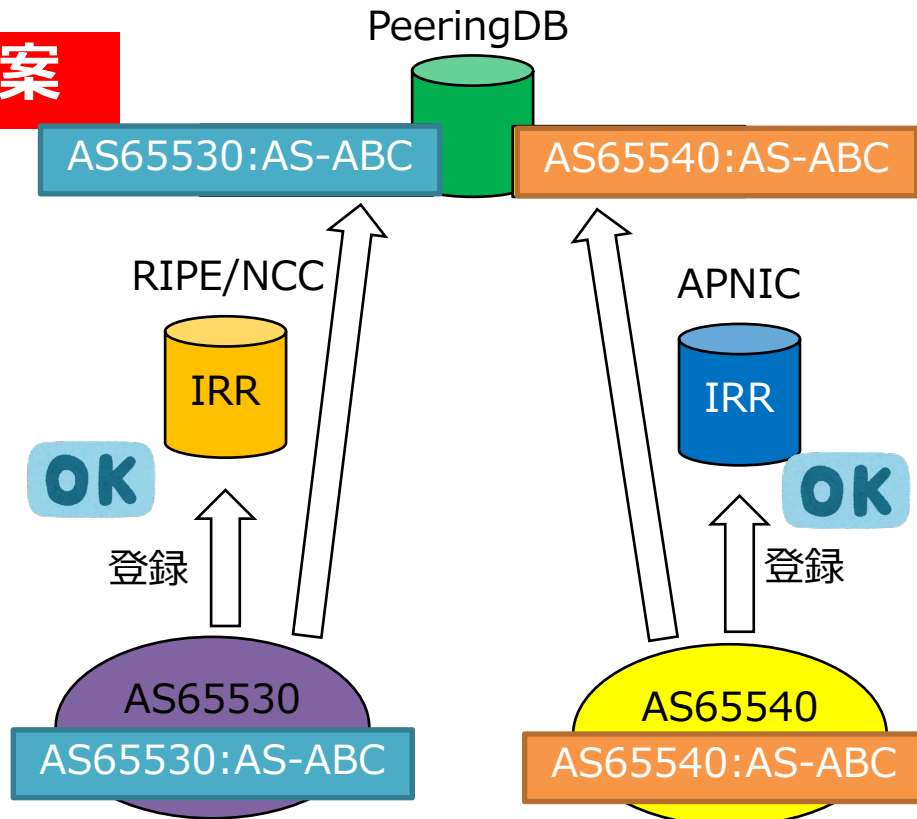
現状



PeeringDBなどにも同一の名前で登録が可能。
参照された際、どちらが正しいのか判別ができない可能性。

Restricting non hierarchical as-set

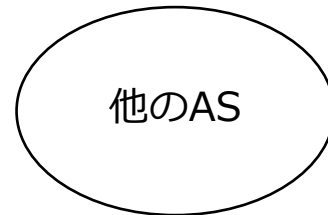
提案



参照



他のAS



AS名:as-set名という書式に
すれば、as-set名が重複して
も正しいASの判別が可能

JPOPF-ST